八島っ子

2021年（令和3年）
2月28日（月曜日）3月号

八島小学校
学校だより

八島HP

児童会役員決定！

◆児童会長に島尻枝果さん◆

去る二月十八日金曜日の五校時、各教室においてオンデマンド動画配信による立ち会い演説会が行われ、その後体育館にて令和四年度児童会長選挙に係る投票が実施されました。

動画配信においては、立候補者六名とそれぞれの推薦人六名による演説が行われ、各立候補者からの意気込みや公約の発表、さらに各推薦人からは推薦理由等についての説明があり、全校児童一人一人が各教室の電子黒板越しに、その演説に熱心に聞き入っていました。

その後、五校時後半には、体育館において、石垣市選挙管理委員会よりお借りしてきた「記載台」と「投票箱」を利用し市長選挙等さながらの投票が三密を回避する形で行われ、投票権を有する三年生以上の八島っ子が思い思いの立候補者へその重みある一票を投じました・・・。

その結果、二月二十四日木曜日、児童会長選挙に係る第四号の告示により、児童会長選挙の開票結果が左表の通り公表されました。

その日は、選挙管理委員会により、事前にアナウンスされていた公表時刻（昼休み時間）には、多くの八島っ子が掲示板近くに集まり、公表と同時に静かに歓声が湧き上がるなど、その関心の高さがうかがえました。

明日からは三月・・、令和四年度に向けての準備が着々と進んでいます。

児童会長	島尻枝果
児童会副会長	新里鈴久
児童会副会長	後呂夏妃
児童会書記	玉城　花
児童会書記	宇根佑眞
児童会書記	上原桜輔

3月23日は「令和3年度卒業式」です・・・。

祝 県交通安全功労等表彰

去る二月二十三日、本校PTAが交通安全功労団体として表彰されました。

この賞は、交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止に顕著な功労のあった個人、団体を沖縄県交通安全推進協議会会長（県知事）が毎年表彰する「沖縄県交通安全功労者等表彰」という大変大きな賞です。

概ね過去十年間の実績が考慮される本表彰において、今年度は、優良自動車運転者一名、交通安全功労団体八団体に県知事より表彰がありました。

これを機に、改めて、保護者の皆様による日々の交通安全に係る子ども達への声かけ等に感謝致します。学校においても、引き続き、交通安全に係る指導を計画的、かつ必要に応じて展開し、都度、保護者の皆様と連携を進めていきたい、と気を引き締めております。

★過去十年間の実績★

平成二十一年四月◆ちゅらさん運動推進校指定
平成二十一年九月◆八島っ子見守り隊結成
平成二十五年九月◆県警察本部長・県交通安全協会交通安全功労賞」受賞
平成二十七年二月◆安全安心な地域社会づくりにおける感謝状受賞

龍生造園様のご厚意により・・・

去る二月二十二日火曜日、校区内に事務所を構える龍生造園様のご厚意により、本校正門アプローチ両側の樹木等の手入れが行われました。

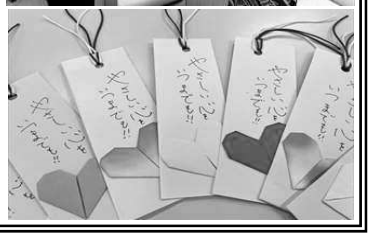
クバやマーニの下葉の剪定に始まり、フクギやヤラブの枝打ちなど、シャボやダンプ等の重機、チェーンソー等の各種の機械を用いながら、植栽の一本一歩を丁寧に手入れ下さいました。

学校職員による普段の作業では、なかなか手の届かない部分を、造園の視点から専門的に整備していただいたことで、本校の顔である正門付近がリゾートホテルのメインゲートのような雰囲気を醸し出し、かつ明るく風通しも良くなりました・・・。

龍生造園様、この度は誠にありがとうございました！

「トントンミー」タペストリー

考案者・宮良生子氏より寄贈



去る二月十七日木曜日、日頃より八島っ子をはじめ多くの本校関係者の皆様に親しまれているマスコット「トントンミー」の考案者である宮良生子氏より、そのトントンミーをモチーフとした手作りタペストリーの寄贈がありました。

そのタペストリー（縦64㎝横49㎝）は、全て古布を利用した作品となっており、下地となっている八重山上布の白布に、イメージに沿って一つ一つの古布を纏（まつ）っていくというすごく繊細な作業工程となっているようです。

また、併せて「やさしい心をいつまでも・・」と一つ一つ手書きで記された全児童分の温かみのある素敵な手作りしおり」も寄贈いただきました。

現在の本校マスコット「トントンミー」は、三十年ほど前、新設準備中の八島小学校の校章及びマスコットに係る石垣市企画による公募があり、それに応募した宮良氏の作品が見事選出され、平成六年二月十七日付、正式に本校マスコットとして制定され現在まで親しまれ続けております。

再来年度に迫る創立三十周年を前に、本日寄贈のあった「トントンミー」タペストリーを起点に原点回帰し・・、より一層八島っ子一人ひとりの健やかな成長と、それらに伴う八島小学校のさらなる発展を願うばかりです！

「車イス体験」と「手話に触れる」

去る二月十七日木曜日、四年生を対象にした「福祉ふれあい体験」が行われました。

その日は石垣市社会福祉協議会より四名の講師の方に来校いただき、車イス及び手話について貴重な体験を重ねることができました。

「車いす体験」においては、三人一組となり、常に車イスに乗っている方の気持ちに寄り添い…、普通に歩く速さで…、かつ時折声をかけながら…という点に気を付け、真剣な態度で取り組む八島っ子四年生の姿がありました。中でも、スロープを下る際の後ろ向きに進む場面においては、より慎重に、より安全安心に配慮し車イスを操作する様子が伺えました。

また、「手話に触れる」においては、聴覚障害者の方から発せられる手話と、通訳の方のその変換された言葉に集中し、すごく真剣な眼差しで、常に手を用いて表現される「手話」に向き合う八島っ子四年生の姿を垣間見ることができました。

一方、今回の取り組みを通して、今般のＳＤＧｓに係るゴール③「全ての人に健康と福祉を」、またゴール⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」等において述べられている「社会的障壁による不便さや課題を感じている障害者や高齢者の方々の潜在的なニーズを知ることの重要性と必要性」について、社会の一員として改めて考えさせられた時間でもありました。

真新しいキャップ！

☆千葉ロッテマリーンズ☆

去る二月八日、春季キャンプを展開していた千葉ロッテマリーンズ球団より、石垣市内の全児童に対してチームキャップの寄贈がありました。

本校においては、球団本部より文元祐貴氏が来校され、八島っ子代表の児童会役員に対してその贈呈式が執り行われました。

当初、本校を含む市内の複数の小学校が、キャンプ滞在中の選手の皆さんと野球を通しての交流会を希望しておりましたが、感染急拡大の影響に伴い、その交流会が中止となったことから、それに替わる形で…という球団の皆様のご厚意により、チームキャップの寄贈が実現しております。

チームキャップの寄贈を受けた児童会役員の皆さんは、早速、その真新しいキャップを被り、ルーキーさながらの爽やかな表情と共に、感謝の意を表していました。

March 3月

1日（火）県学力到達度調査（5･6年）
サンゴタイム（個別）
県立高校卒業式
3日（木）海に関する学習まとめ
※シンポジウム（６年）
サンゴタイム（全体）
4日（金）サンゴタイム（漢字）
5日（土）サンゴの日
2022サンゴイベント
※本校体育館にて
8日（火）サンゴタイム（個別）
10日（木）卒業式練習①
サンゴタイム（全体）
11日（金）６年生を送る会
サンゴタイム（漢字）
12日（土）６年ＰＴＡ行事
13日（日）３年ＰＴＡ行事
１年ＰＴＡ行事
※教室清掃
15日（火）サンゴタイム（個別）
17日（木）卒業式練習②
サンゴタイム（全体）
18日（金）サンゴタイム（漢字）
22日（月）卒業式前日準備等

卒業式

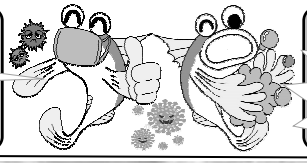
23日（火）

24日（水）修了式･離任式

※23、24日両日の**給食はあり**
ません。よろしくお願いします。

検温・健康観察の徹底

☆マスクの着用の徹底☆



手洗い・手指消毒の徹底

沖縄県学力到達度調査

◆実施日：3月1日（火）
◆対　象：5年生、6年生
◆教　科：国語、算数

「児童一人一人の当該学年における1年間の学習の定着状況を把握し、授業改善の充実を図るために実施する。」等をねらいに毎年本県において実施されている本調査が、本校においても、上記と通り、5年生43名及び6年生41名を対象に実施されます。

コロナ禍の避難訓練…

去る一月二十八日金曜日、「災害発生時に児童一人ひとりが自らの命を守るため、実践的な避難訓練を通じて、一人ひとりが自分の安全を確保する適切な避難行動ができるようにする。」等のねらいの下、火災想定避難訓練を実施しました。

今年度は、コロナ禍の訓練実施…という懸念もありましたが、やはり子ども達の生命に直結する取組という観点から、石垣市消防署本部からの助言等を参考にした上で、「避難経路の確認」と　避難時にはハンカチ等を鼻と口にあてる…等の確認」を主にした訓練を三個学年毎に二回に分けて実施しました。

スマホ・ゲームのこと…

◆「週に一日以上、脳の休息日としてゲーム（スマホ）をしないこと」
◆「スマホ（ゲーム）の使用時間は一日一時間以内にすること」
◆「寝る一時間前はスマホ（ゲーム）を見ない」

◇八島っ子のやくそく！

帰宅は6時までに！

年度末三月、帰宅時間は上記の通り引き続き「午後六時までに…」となります。各ご家庭におきましても、お子さんとのご確認をお願い致します。

サンゴと人々のくらし…

～環境省国際サンゴ礁研究モニタリングセンターにて～

去る二月二十八日木曜日、本校五年生四十三名が環境省国際サンゴ礁研究モニタリングセンターにおいて、所長兼上席自然保護官の山本以智人氏（本校ＰＴＡ）を講師に、五年生が年間を通して取り組みを進めてきた「海に関する学習『サンゴ学習』」に係る講話を拝聴することができました。

「サンゴと人々のくらしの関係について学び、問題解決のために自分たちができることに気付き、その意欲を高める。」、という学習のねらいのもと、世界中の人々と共に海の環境保全をはじめとする共通の問題を通してＳＤＧｓに取り組むことの必要性と重要性について、日常の生活や身近で日々展開していること等を振り返りながら考えることができました。

中でも、「サンゴ礁と私達の生活とのつながり」、「海からの恵み」、「昔の生活と現在の生活」、「石油の力と自然の力」等々、山本さんから提起されるキーワード一つ一つに対して、真剣な眼差しで聴き入り、時折的確な感想を発する八島っ子五年生の姿に感心しました。同時に、「現在の私たちの日々の消費行動を今後続けていくためには、地球が２･８個存在しないとそれを維持できない…」というすごく身に迫る問題提起のあった際には、一段と気持ちを引き締め、未来を見つめるような一人一人の凛とした表情が印象的でした。